



探検前に、児童は「竹」「カナヘビ」「花」など調べる内容を決めます。「ハチ」をテーマにした西花琥

1980(昭和55)年、地主から無料で借りている土地を利用して整備しました。広さは1万1736平方メートル、野球のグラウンドと同じくらいです。「きのこの道」や「どんぐり広場」と名付けられた場所があります。

津幡町太白台小の隣には、自然豊かな「太白の森」が広がっています。春はタケノコが採れ、秋にはドングリが拾えます。児童が生き物や植物について知る学びの場となっています。3年生50人が「太白の森博士」を目指し探検に出掛けました。不思議の宝庫で何を見つけたのかな。

# 森を探検 不思議発見



みんなで森を探検したら、不思議なことがたくさん見つかりました  
—津幡町津幡



図書室に行って、森で見つけた生き物や植物について調べました  
—津幡町太白台小

## 竹、カナヘビ、花

探検前に、児童は「竹」「カナヘビ」「花」など調べる内容を決めます。「ハチ」をテーマにした西花琥

1980(昭和55)年、地主から無料で借りている土地を利用して整備しました。広さは1万1736平方メートル、野球のグラウンドと同じくらいです。「きのこの道」や「どんぐり広場」と名付けられた場所があります。

津幡町太白台小の隣には、自然豊かな「太白の森」が広がっています。春はタケノコが採れ、秋にはドングリが拾えます。児童が生き物や植物について知る学びの場となっています。3年生50人が「太白の森博士」を目指し探検に出掛けました。不思議の宝庫で何を見つけたのかな。

## 生き物や植物を観察

珀くんは「刺されないように遠くから調べる」と気を引き締めました。児童は森の中で、動物や植物を探しました。「こ

の花の名前は何だろう」「カナヘビはどんな生活をしているのかな」。たくさんの疑問が浮かびました。中井一乃くんは「ヘビイ

チゴを見つけたよ」と赤い実を摘んで見せてくれました。寺田莉乃愛さんは「葉っぱに線がいっぱいあるのはなんでだろう」と首をか

しげました。

### 5秒で卵を産む

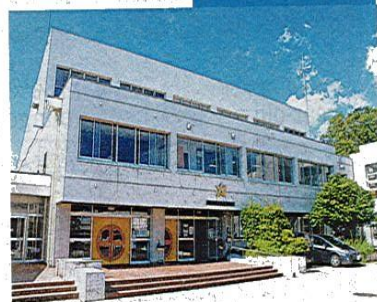
ササがたくさん生えている「ささぶえの道」では、先生からササ笛や草笛の吹き方を教わりました。北村空也くんは「強く吹くと大きな音が出たよ」と喜びました。

児童は、探検中に見つけた「不思議」を学校の図書室で調べました。竹がどうやって育つのか調べた河浦匠希くんは「どんどん皮がむけて大きくなるんだって」と驚き、一木楓夏さんは「カナヘビはたった5秒で卵を産むんだよ」と教えてくれました。

最後は、分かったことをみんなの前で発表します。北川美羽さんは「いろんなことが分かって楽しい」と話し、西尾優亜さんは「木の实についてもっと知りたい」と目を輝かせました。豊かな自然に囲まれのびのびと学んでいます。



## 津幡町 太白台小



創立 1976 (昭和51) 年  
児童数 319人  
所在地 津幡町津幡ワ2  
教育目標 よりよく学び  
心豊かに  
たくましく

### 校長室

#### 山田徹校長から

太白の森は本校のシンボルとも言える森です。児童の自然観察の場として活用しています。こどもたちは、四季折々でさまざまな生き物や植物に触れ合える太白の森が大好きです。森での活動を通して、自然に対する興味と自然を大事にする気持ちを育んでほしいです。